

「特別委員会」

◆総合開発特別委員会

◇IR構想の中間報告を提示

林 光仁 委員長

所管事項が8項目あり、それぞれ説明及び質疑が交わされました。苦小牧国際リゾート構想の中間報告については、各会派から活発な質疑がありました。内容としては、空港隣接の植苗地区を選定し、6つの基本コンセプトを掲げており、IRの効果としては、雇用機会の創出・IR建設運営、需要取り込みによる地元産業への貢献・納付金税収による経済効果が示されました。最終報告は6月議会に示され、その間市民セミナーも開催されます。



その他、航空機の部品落下事故や東部地域での「積雪寒冷地域における自動運転プロジェクト」及び国家石油備蓄基地の操業に係る操業受託事業者の変更について質疑されました。

◆安全・安心及び市民ホールに関する特別委員会

◇市民ホール建設にあたり、民間活力導入可能性調査を行う

岩田 薫 委員長

5項目の報告事項について説明があり、苦小牧市地域防災計画の修正案の質疑では、長期的な生活支援の制度化に向け今後、国や道と協議していくこととしました。また、仮説住宅の建設では、1万人を想定しているとの答弁がありました。防災ハンドブックについては、リニューアルされたものが全世帯に配布されたことから、宣伝や周知を行うとともに、活用の実態についてアンケート調査を行うこととしました。



(仮称)市民ホール建設基本計画(案)については、1月に行ったパブリックコメントに、事業アイデアや、ホールの大きさなど10項目11人から意見が寄せられたことが報告されました。また、民間活力導入可能性調査を行い、整備手法を検討するとしてしました。

平成30年度一般会計  
予算審査特別委員会

金 澤 俊 委員長

平成30年度の予算については、市長の改選前にも関わらず、ほぼフル予算に近い計上となりました。予算提案に対する各委員の質問は、延べ53人の委員が行い、合計570回を超える質問を行いました。

議会費から歳入や債務負担行為、継続費に至るまでさまざまな議論がされましたが、私が感じた印象は、「財源を意識した質疑が以前よりも多かつたのではないか」ということです。

少子高齢化と人口減少、これに伴う税収減を懸念し、これまでの歳出促進の提案だけでは、やはり限界があることを議会としてもより強く意識している表れなのだと思います。財源を踏まえた、より現実的な議論こそ、具体的な施策につながる第一歩に違いありません。

一 般 会 計	
委員長	金 澤 俊
副委員長	小野寺 幸 恵
委 員	岩 田 典 一
	神山 哲太郎
	牧田 俊之
	首藤 孝治
	松尾 省勝
	矢嶋 翼忠
	桜 林 光 仁
	渡 辺 満 三
	小 山 征

平成30年度企業会計  
予算審査特別委員会

西野 茂樹 委員長

特別会計では、国民健康保険事業・霊園事業・介護保険事業・後期高齢者医療、企業会計では、水道事業・下水道事業・市立病院事業・公設地方卸売市場事業の8会計の予算について審査されました。

質疑は、延べ47人の委員により行われ、全体で106点の質問項目となり、一問一答による質問回数は、603回でありました。また、この中で要望及び提案は、59件となりました。

今回の特別・企業会計の審査では、制度の見直しや、新たな施策を求める提案や改善要望の質疑では、予算の節区分にかかわるきめ細かな事業に対するものもあり、これまで以上に、予算の細部に及ぶ議論が交わされました。

企 業 会 計	
委員長	西野 茂樹
副委員長	池田 謙次
委 員	竹田 秀泰
	板谷 良久
	大西 厚子
	藤田 広美
	宇多 春美
	工藤 良一
	岩田 薫一
	谷川 芳一
	越川 慶一
	富岡 隆